

6. 噴火に備えて

●火山情報の種類

火山情報

緊急火山情報	生命・身体に関わる火山活動が発生した場合、もしくは発生するおそれがある場合発表します。
臨時火山情報	火山活動に異常が発生し、注意が必要なときに随時発表します。
火山観測情報	緊急火山情報、臨時火山情報を補うなど、火山活動の状況をきめ細かく発表します。
火山活動解説資料	火山活動の状態について、各種観測成果に基づき評価を行い、詳細に解説した資料を、毎月一回、公表します。

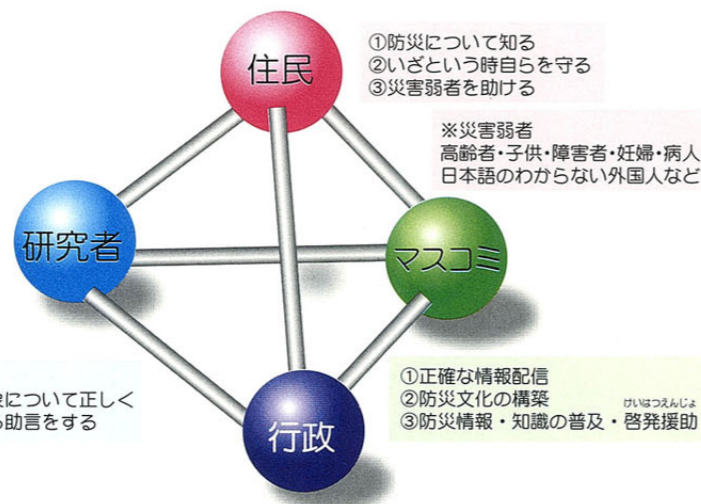
気象台は火山活動に変化が生じ、注意・警戒する必要がある場合などには、「火山情報」を発表して、注意・警戒を呼びかけます。また、火山の活動状況を定期的に公表しています。鳥海山の火山情報が発表されたときには注意しましょう。

天気予報に例えれば、「緊急火山情報」は警戒に相当し、「臨時火山情報」は注意報に相当します。

●連携・協力による減災

鳥海山周辺に住む私たちにとって、火山噴火は避けて通ることのできない自然の営みです。しかし火山災害は、住民の自主防災を含めた、右図の4者の助け合いによって、被害を最小限におさえることができます。

そのためには、まずこの4者が情報を共有することが大切です。また、災害の当事者となる住民の自覚と行動を、研究者・行政・マスコミが底辺から支援する必要があります。



- ①最低限必要な防災対策（ハード・ソフト）
- ②自然災害・防災知識の普及・理解の援助

図：減災の正四面体に加筆（岡田1997による）

●噴火による避難期間の長さ

鳥海山の噴火は、数ヶ月～数年に及び可能性があります。長期化した場合には、一時的な避難場所から、写真のような仮設住宅に移動をしなければならないこともあります。

避難生活の長期化は、避難されている方々の精神的、肉体的、そして経済的な負担が大きくなるなど、様々な問題点も出てきます。



仮設住宅[雲仙普賢岳]



●非常時の持ち出し品チェックリスト

- 着替え
- 常備くすり、救急箱
- ・長そで上着、Tシャツ
- 現金・小銭
- ・ズボン、下着、くつ下など
- 預金通帳・印鑑
- ヘルメット(または帽子)
- 健康保険証
- 手ぶくろ・軍手
- 携帯電話
- ゴーグル
- ラジオ(予備電池)
- マスク
- 懐中電灯(予備電池)
- かさ・カップ
- ろうそく・ライター
- リュックサック
- 赤ちゃんがいる場合
- 毛布・タオル
- ほ乳ビン、ミルク、おむつ
- 非常食
- お年寄りがいる場合
- ・水(3リットル以上)
- お年寄り用常備薬 など
- ・乾パン、もち、缶詰、
- 小食料、アメ、チョコなど

避難する場合は



- 戸締り、電気、ガスの元栓を確認しましょう。
- 貴重品は忘れずに持参しましょう。
- あわてず落ち着いて行動しましょう。
- お年寄り、赤ちゃん、身体の不自由な人、外国人など言葉の分からない人の避難を助けてみましょう。
- 市街地では車は使わず徒歩で避難しましょう。

●もし噴火しそうになったら

気象台が発表する火山情報に注意しましょう。



テレビやラジオのニュース、新聞、市町村の広報などを聞いて正しい情報を得ましょう。



デマやうわさに惑わされないようにしましょう。(インターネット上でも無責任な情報が流れることがあります。)



市役所や役場からの避難勧告や避難指示には従いましょう。



●普段から災害に備えて

鳥海山が噴火した場合どのような災害が考えられるのか知っておきましょう。



普段から非常持ち出し品を備えておきましょう。



家族で避難場所を確認しあっておきましょう。



噴煙などの異常現象を発見したらすぐに市役所や役場、警察、気象台などに連絡しましょう。(うら表紙参照)

